

「2005年1月1日から2012年12月31日までに希少転移乳癌に対して治療を受けた患者さまへ」

研究課題名 希少転移乳癌の局所及び全身療法に関する国際共同後向きコホート研究

1. 研究の対象：2005年1月1日から2012年12月31日までに再発乳がんとして初めて診断された方のうちで、再発の診断時に脳転移を除く5カ所以下の転移巣（希少転移乳癌）を認めた方で、全身療法、あるいは局所療法と全身療法を受けられた方が対象となります。
2. 研究目的・方法：希少転移乳癌における局所療法と全身療法の意義を検証するため、希少転移診断時からの全生存期間、希少転移診断時からの無増悪生存期間に影響を与える臨床学的解剖学的病理学的因子の解析と局所療法による重篤な有害事象の発生率を検討します。研究期間：倫理審査委員会承認日～2020年6月30日
3. 研究に用いる試料・情報の種類：どのような治療がなされ、どのような効果があったのかを観察することが目的のため、患者さんのカルテから収集できる情報（希少転移診断からの全生存期間を中心に）を用いて分析を行い、希少転移乳がんへの最適な治療法を検討します。
4. 外部への試料・情報の提供：この研究は日本、中国、韓国の乳がんの研究者がFACO(ファコ)(アジア臨床腫瘍学会機構)という3カ国が共同してがん治療を開発するために設立された機構が行います。お名前、住所、電話番号、カルテ番号などあなた個人情報が特定できないように対応表を用いて匿名化した情報を研究に使用しますのでプライバシーは厳重に守られます。データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

5. 研究組織

Federation of Asian Clinical Oncology (FACO; CEO, 西山 正彦)

Korean Association for Clinical Oncology (KACO, Chairman, Young Hyuck Im)

Chinese Society of Clinical Oncology (CSCO; Chairman, Jin Li)

Japan Society of Clinical Oncology (JSCO; Chairman, 北川 雄光)

主任研究者 FACO 事務局

井本 滋 杏林大学医学部付属病院乳腺外科

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2

TEL: +81-422-475511 FAX: +81-422-476273

FACO 事務局 (日本癌治療学会東京事務所内)

〒104-0033 東京都中央区新川 2-13-10 新川ビル 2階

TEL: +81-3-55420546 FAX: +81-3-55420547

6. お問い合わせ先：本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

「問い合わせ先」

担当者：所属 乳腺甲状腺外科学 職名 講師 氏名 山本 裕

TEL：086-462-1111（代表）

FAX：086-462-1199

E-mail：yamayou@med.kawasaki-m.ac.jp

7. 利益相反

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供していただくことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。なお本学の研究資金としては、研究責任者の教員研究費を充てています。